

堺アートカウンシル

ニュースレター

vol. 03

発行：堺アートカウンシル（堺市文化観光局文化課文化課内）
発行日：2022.7.13（不定期に発行） お問い合わせ：bunka@city.sakai.lg.jp



開催告知 | 地域でのアート活動を学ぶ勉強会

第2回「集まる場から作る仲間の増やし方」

活動を続けていくと、喜びもたくさんあるけれど、さまざまな苦労も増えていきます。なかでも、仲間づくりに関することは、一言では言い表せない難しさがあるかもしれません。組織のコアメンバーだけでなく、ボランティア、協働相手など、どうしたら新しい仲間に出会えるでしょうか。

今回のゲストは、泉北ニュータウンを中心に市民が主役になる駅前広場の仕組みづくりや、空き部屋をリノベーションした団地再生といった事業を展開されている宝楽陸寛さんです。宝楽さんの活動は、「まず集まり、語り合う」ことから始まります。できることから活動し、仲間や規模も少しずつ広げてきた体験談は、アートに限らず多くのヒントが隠されていると思います。また、参加者ご自身の活動をひろげるヒントを見つけるためのミニワークショップも行います。どうぞお気軽にご参加ください。

ゲスト | 宝楽陸寛さん（泉北ラボ代表理事、NPO法人SEIN事務局長）



日時 | 8月31日（水）15:00～17:00

開催情報

場所 | 東文化会館 研修室 *要申込。詳細はQRコードへ

●近日開催！第1回 さかいとあーと井戸端かいぎ
～ゆるく話そう。地域とアート、つながりづくり～

日時 | 7月27日（水）14:00～15:30

場所 | 堺市西区役所 地下1階会議室

*申込不要。詳細はQRコードへ



開催レポート | 地域とアートを学ぶ勉強会

第1回「活動のつなげかた・ひろげかた」

今回の勉強会は、演奏会や展覧会を実施してもなかなか

か新しいお客さんと出会えないという悩みに対して、新しいヒントになるものをと企画されました。

ゲストはアマチュアオーケストラ、アミーキティア管弦楽団（通称アミオケ）の主宰で堺市文化振興財団職員でもある常盤成紀さん。自分たちの特徴や強みや弱みなどを一つひとつ見つけながら、活動を変化させていった過程をお話いただきました。



一番の変化は、自分たちだけで企画した演奏会にお客さんを呼ぶのではなく、一緒に演奏会をつくりたいと言ってくれるところに行き、その場所、その人たちとしかできない企画をするようになったこと。例えば、元日雇い労働者の町での演奏会では「美しき青きドナウ」を選びました。曲が生まれた19世紀のオーストリアと社会環境が重なると考えたからだそうです。また、過疎化が進む町では、演奏会と同時にメンバーが中高生たちと将来のキャリアを考えるワークショップを行いました。様々な職業の人で構成されるアマチュアオーケストラだからこそできたと言います。

アミオケが「なぜ、ここで、これをするのか」ということにこだわって企画する中で、新しい場所や人に出会い、自らの演奏にも新しい発見が生まれ、活動の幅を広げていったことがわかり、どのような活動にもそ

堺アートカウンシル（堺AC）は、専門的人材が文化芸術活動に携わる人たちを支え、それぞれの活動が豊かになることを促すとともに、文化芸術と子育て・教育・福祉など様々な分野とのつながりを提案する組織です。

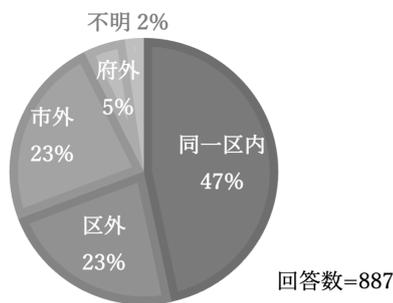
んな可能性があると思わせられる時間になりました。
(2022年6月27日フェニーチェ堺にて開催)

調査レポート | 令和3年度堺市文化芸術活動応援 補助金事業の来場者・参加者アンケート調査

堺ACが実施した標題調査では、887件の回答がありました。その分析の中で興味深かった結果のひとつは、回答者の来場地域の傾向です。

「来場地域」というのは、例えば事業を開催した会場が堺区の場合に回答者が堺区在住者なら、来場地域は「同一区内」で、南区在住者なら来場地域は「区外」と分類します。会場が南区の場合、回答者が堺区在住者なら来場地域は「区外」で、南区在住者なら「同一区内」となります。その考え方で回答者の来場地域を分類して集計すると、「同一区内」47%「区外」23%「市外」23%「府外」5%「不明」(無回答)2%となりました(図表参照)。

図表：令和3年度堺市における文化芸術活動の
来場地域の割合



さらに来場地域を年代別に分析すると、子どもたちを含む未成年や70歳以上の高齢者では、自宅に近い同一区内の会場に足を運ぶ割合が高い一方で、20歳代と50歳代という、子育てに忙しい30~40歳代の前後の世代では、堺市の市内よりも市外から足を運ぶ割合が高くなることが分かりました。

みなさんの文化芸術活動で来場される方、参加される方は、どこから来られているのでしょうか。どのくらいの範囲に広報や宣伝を働きかけていくといいでしょうか。アンケートを効果的に集計することで、こう

いった分析にも活用することができるようになります。事業実施の際には、是非アンケートを活用いただくことをおすすめします。

視察レポート | アトリエEDDY&BOBIN 「トールペイント・絵画・造形展示会と 子供たちのボランティア参加」

堺区南半町、地元の人で賑わうカフェ・ヒノデヤ・プラスさんというカフェの中に貸しスペースがあり、そこでアトリエEDDY&BOBINさんの作品展示会が開催されていました。会場には幼稚園児~中学生の子どもたちの作品が展示されています。のびのびと泳ぐ亀の絵、じっとこちらを睨みつける虎の絵などさまざま。別のブースでは子どもがスタッフとなり、射的などのゲームもできるようになっていました。私もとても懐かしくなり、子どもスタッフの一人に割り箸鉄砲のつくりかたを教えてもらいました。

子どもたちに「あなたの作品はどれですか?」と聞くとずっと指差してくれました。その子は滝を描いていて、轟々と音を立てて水が流れているようでした。「すごく涼しそうだね」と声をかけると、照れ臭くなったのかずっとどこかへ行ってしまいました。主催の江戸さん曰く、なにを描きたいかは子どもたちが決め、自分でできるところまで一人で描いて、少しだけ「ここをこうしてみたら?」とアドバイスをされるそうです。展示会には作品を展示している子どものお友達や毎回この展示会を楽しみにされている地域の方などもおられたようでした。

アトリエEDDY&BOBINさんは、展示会以外にも、自然体験のワークショップや福祉施設での絵画ボランティア体験なども実施予定。「子ども」を軸としつつも、さまざまな世代、分野の方とつながろうとされています。

(2022年6月25日視察/令和4年度堺市文化芸術活動応援補助金採択事業)

堺アーツカウンシルでは、堺市ホームページ、Twitterなどで、情報を発信しています。
ホームページ：堺市ホームページ (<https://www.city.sakai.lg.jp/>) 内。
画面右上「目的別検索」にて「堺アーツカウンシル」で検索。
Twitterアカウント：@SAC_sakaibunka



ホームページ



Twitter